

WEB formosus(フォルモス) vol.36

formosusとはラテン語で「美」を意味します。古代ローマに造られた建築の美しさを表現したものです。東北の豊かで美しい自然を生かした社会資本整備には「用・強・美」が必要であり、集大成された「美」を追求していきたいとの思いで本誌のタイトルにしています。

国土交通省 東北技術事務所 電子広報誌 WEB formosus(フォルモス)発行事務局 発行2019.7.24



REIWA
New year

2019.6.5~6

ENGINEERING EXHIBITION EE東北'19 開催報告!!



目次

	ページ
◇「EE東北'19」開催状況報告	2~6
◆令和元年度第1回官民合同の技術講習会を開催～官民共同で若手技術者を育成！～	7
◇夏休み2019宿題☆自由研究大作戦開催のお知らせ	8
◆第18回(令和元年度)高校生橋梁模型作品発表会作品募集のお知らせ	9
◇橋梁点検・診断の実施について	10
◆樋門・樋管・水文の河川施設点検～業務概要報告～	11
◇東北技術事務所の歴史を辿る～四ノ技～アスファルト試験棟の歴史第二章	12~15
◆東技ホームページの紹介、あとがき	16

E E 東北実行委員会事務局（東北技術事務所内）

建設関連分野に係わる新材料、新工法、その他時代のニーズに対応し開発された新技術を公開する「建設技術公開 E E 東北'19」を、6月5日（水）～6日（木）の2日間、「夢メッセみやぎ」にて開催しました。

建設現場の生産性向上と担い手確保・育成に資するため、i-Constructionの中核となる I C T（情報通信技術）や A I（人工知能）を活用した技術を中心に5分野 8 9 1 技術が集結しました。

また、建設現場の地形状況把握をはじめ災害時にも被災状況確認に活躍している、U A V（ドローン）競技会を同時開催しています。

例年 1 万人を超える来場者が訪れますが、今回も建設業界の方だけでなく、一般の方や土木系を学ぶ学生など、2 日間で **1 6, 5 0 0 人** の来場があり、E E 東北来場者の最高記録となりました。

E E 東北' 1 9 実施内容

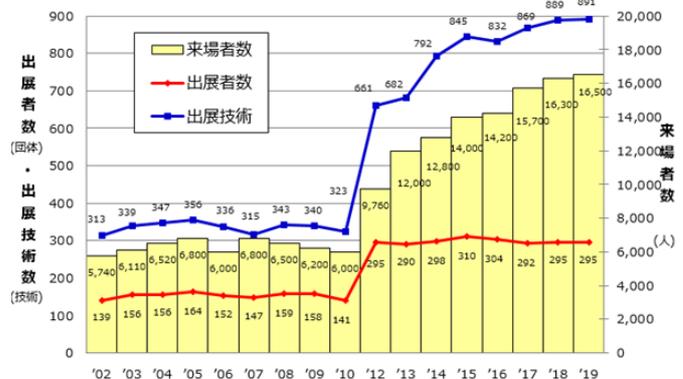
①開催スケジュール

内容	開催日
開会式 ・開会宣言、主催者あいさつ、 来賓祝辞、テープカット	6月5日（水）
新技術展示会 ・出展者数 295社 ・出展技術数 891技術	6月5日（水）
	6月6日（木）
新技術プレゼンテーション ・64技術(題)	6月5日（水）
	6月6日（木）
U A V（ドローン）競技会 ・総合技術部門 6チーム ・一般参加部門 9チーム ・F P V実演	6月6日（木）
特設コーナー ・大学研究室の展示 ・学生向け出展企業紹介コーナー ・高校生橋梁模型作品発表会入 賞作品展示 ・技術パネル展示	6月5日（水）
	6月6日（木）

②技術分野別出展者数、技術数

技術分野	出展者数	技術数
(A) 設計・施工	100	337
(B) 維持管理・予防保全	113	290
(C) 建設副産物・リサイクル	7	14
(D) 防災・安全	62	196
(E) その他共通	13	54
計	295	891

③技術分野別出展者数、技術数の推移



開催状況

■ 開会式 ■

第 2 9 回目の開催となる「E E 東北' 1 9」は、6月5日(水) 1 0 時に E E 東北実行委員長の開会宣言及び、構成団体代表 1 5 名のテープカットにより開幕しました。



開会宣言
実行委員長
西尾企画部長



構成団体代表挨拶
高田東北地方整備局長



来賓祝辞
国土交通省総合政策局
森下施工安全企画室長



開会式テープカット



屋内展示場内の様子



建設用無線ロボ操作体験

▲新技術展示会▲

設計・施工、維持管理・予防保全、建設副産物・リサイクル、防災・安全等、5分野891技術が集結。各ブースでは展示、実演、体験など様々な方法による紹介が行われ、来場者には建設技術の今を体感していただきました。



技術の説明を受ける来場者



高校生によるVR技術体験



プレゼンテーション発表者

▼新技術プレゼンテーション▼

隣接会場で行われた出展者による新技術のプレゼンテーション会場には、2日間で3,100人の方が訪れ、熱心に聴講していました。



橋梁模型見学者

▼CPDS受講証明書の発行▼

建設技術公開「E E 東北'19」はCPDSのガイドラインに基づくプログラムとして認定を受けており、各ブースの見学やプレゼンテーションを3時間以上聴講した約2,400名に対し、証明書を発行しました。



プレゼンテーション聴講者

▲特設コーナー▲

H30高校生「橋梁模型」作品発表会の入賞作品の展示コーナーでは、高校生の制作した精密な構造の作品に目を奪われ、多くの方が立ち止まっていました。



CPDS受付の様子



総合技術部門競技の様子



一般参加部門競技の様子

▲UAV（ドローン）競技会▲

利活用の幅がますます広がってきているUAV（ドローン）の競技会場には延べ2,000人が見学を訪れ、注目度の高さが伺えました。昨年度に引き続き、空撮技術や計測技術（空撮測量）を競う総合技術部門と飛行技術を競う一般参加部門による競技に加え、FPV実演が行われ会場は熱気に包まれました。競技の結果、総合技術部門は「タックエンジニアリング・昭和土木設計」、一般参加部門は「ドローンテクノポート東北・(株)TTK」が優勝しました。

■最後に■

開催当日は心配された天候にも恵まれ、盛会裏で開催終了いたしました。用意したガイドマップ等も無くなり、急遽予備のもので対応したり、事務局としてはうれしい悲鳴となりました。今後もE E 東北により、新技術を積極的に情報発信し、新技術を提供する人とそれを必要とする人との良い出会いや交流する場となることを期待します。

EE東北 '19 UAV(ドローン)競技会開催

～UAV(ドローン)の技術特性と適用性を探る～

『EE東北 '19』において6月6日、UAV(ドローン)に関する操作技術、空撮技術、計測技術を競う競技会を開催しました。

UAV競技会は、夢メッセみやぎ西展示場で昨年引き続き5回目の実施となり、会場には、EE東北出展者や一般来場者など約2,000人の方々が見学に訪れました。

競技会には総合技術部門へ6チーム、一般参加部門へ9チームが参加しました。

【競技内容】

競技会は、以下の2つの部門で行いました。

①総合技術部門

誰でも参加可能で、対象構造物の周辺を飛行しながら、空撮や計測・計測結果のプレゼンテーションを行い、操作技術・計測技術（空撮測量）・プレゼンテーション力を競う部門です。

②一般参加部門

誰でも参加可能で、対象構造物の空撮や障害物をかわしながら指定ルートでの飛行を行い、空撮技術と操作技術を競う部門です。

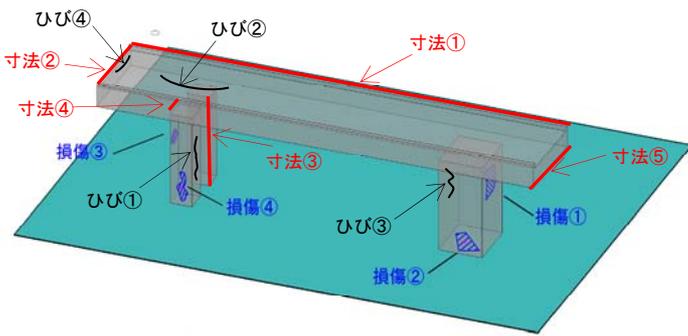
◆総合技術部門

- ・ 6チーム参加しました。
- ・ 対象構造物の空撮画像から対象構造物の寸法、損傷の程度（長さ、面積、深さ）を計測します。また、計測結果はプレゼンテーションを実施します。
- ・ 計測の精度、プレゼンテーション力、操縦技術の総合得点で順位を決定します。

競技のようす(総合技術部門)



計測結果(総合技術部門)



課題番号	寸法計測		
	正解値	近似解答値	誤差
寸法①	10,000mm	10,004mm	+4mm
寸法②	2,104mm	2,102mm	-2mm
寸法③	1,999mm	2,000mm	+1mm
寸法④	500mm	500.08mm	+0.08mm
寸法⑤	2,184mm	2,183mm	-1mm

課題番号	ひび割れ長さ			課題番号	損傷面積			課題番号	損傷深さ		
	正解値	近似解答値	誤差		正解値	近似解答値	誤差		正解値	近似解答値	誤差
ひび割れ①	1,032mm	1,026.6mm	-5.4mm	損傷①	310,522mm ²	311,772.8mm ²	0.41%	ひび割れ①	57mm	54mm	-3mm
ひび割れ②	1,503mm	1,501mm	-2mm	損傷②	139,040mm ²	140,229.9mm ²	0.86%	ひび割れ②	37mm	33.6mm	-3.4mm
ひび割れ③	777mm	781mm	+4mm	課題③	70,783mm ²	70,640.3mm ²	0.21%	ひび割れ③	35mm	33mm	-2mm
ひび割れ④	983mm	982mm	-1mm	課題④	76,899mm ²	75,895.4mm ²	1.31%	ひび割れ④	30mm	35mm	+5mm

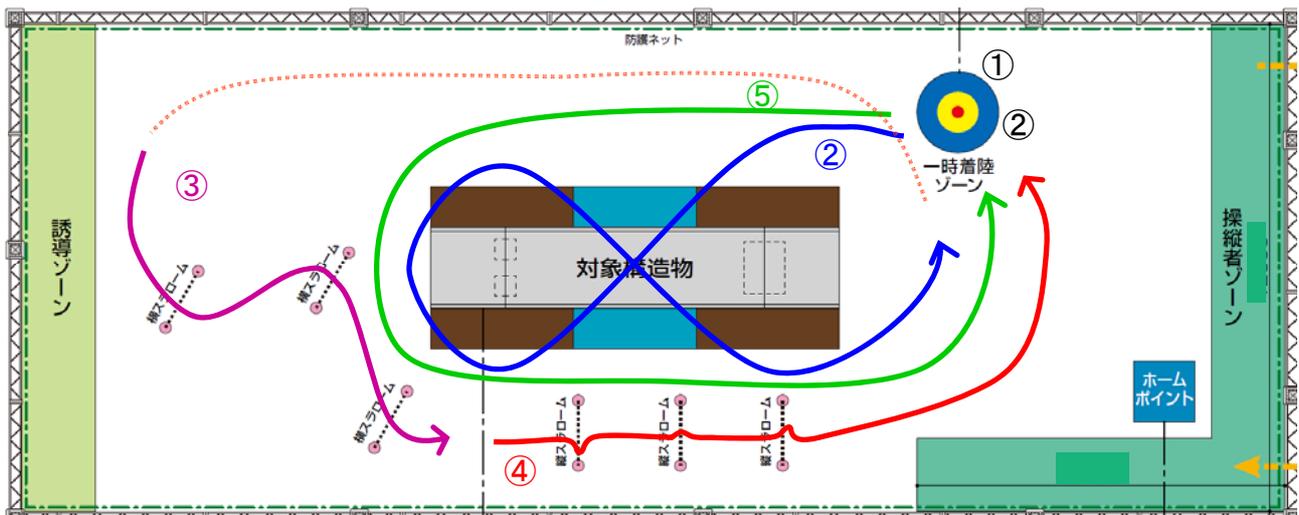
※上記計測結果は、項目毎に正解値に一番近いチームの値を掲載しておりますので、1チームのみの解答値ではありません。

◆一般参加部門

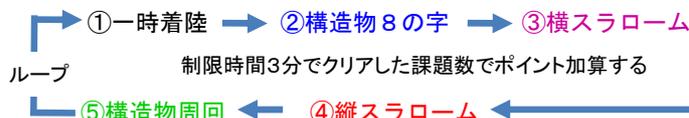
- ・9チーム参加しました。
- ・決められた撮影ターゲットの空撮、障害物を避けながら指定ルートでの飛行を行います。
- ・指定ポイント通過の有無、空撮画像の鮮明度、飛行時間の総得点で順位を決定します。

競技の流れ

1. 撮影課題 : 構造物まわりを飛行し、撮影ターゲットを空撮
2. 操縦課題 : 指定ルートを飛行し、ポイント通過数を競う



操縦課題の概要



競技のようす(一般参加部門)



【競技の結果】

<総合技術部門>

受賞内容	チーム名	
優勝 ベスト計測賞	タックエンジニアリング・昭和土木設計	岩手県
準優勝	やんちゃな土木ネットワーク(YDN)	山梨県
第3位 プレゼンテーション賞	センソクコンサルタント	宮城県



<一般参加部門>

受賞内容	チーム名	
優勝	ドローンテクノポート東北・(株)TTK	宮城県
準優勝	写真企画	宮城県
第3位	ドローンフライトクルー	秋田県



令和元年度 第1回 官民合同の技術講習会を開催 ～官民共同で若手技術者を育成！～

東北地方整備局 企画部 技術管理課
東北技術事務所

「第8回復興加速化会議」(平成29年12月16日)にて示された「～新たなステージへ～東北復興働き方改革プロジェクト」の一環として、加盟17団体の若手技術者を育成する「官民合同技術講習会」(土工、アスファルト、コンクリート、構造物)を開催しました。
今回は4講座で延べ129人(国19人、自治体52人、民間58人)の方に受講していただきました。

東北復興働き方改革プロジェクト(一部抜粋)

働く人々をサポート!(人づくり支援)

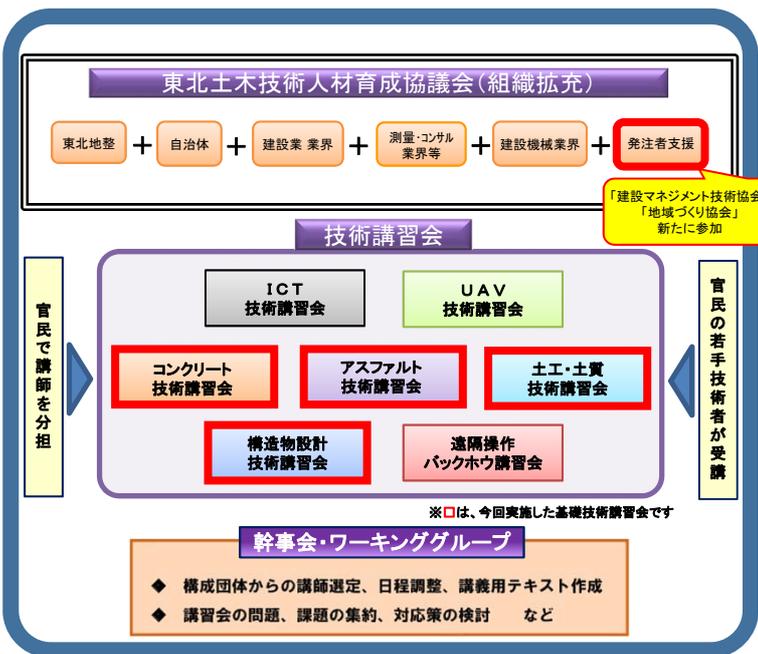
- 講習会、研修などでサポート
 - ・自治体職員を含む人材育成協議会の活動推進
 - ・自治体職員の防災対応力向上試験(学び塾)

- 開催日時:令和元年7月1日(月)～5日(金)
- 講習内容:土工、アスファルト、コンクリート、構造物設計
- 開催場所:東北地方整備局 東北技術事務所
- 主催:東北土木技術人材育成協議会

参加団体:国土交通省東北地方整備局
青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
福島県、仙台市
(一社)日本建設業連合会 東北支部
東北建設業協会連合会
(一社)建設コンサルタンツ協会 東北支部
(一社)東北測量設計協会
(一社)日本建設機械施工協会 東北支部
(一社)東北地質調査業協会
(一社)日本道路建設協会 東北支部
(一社)東北建設マネジメント技術協会
(一社)東北地域づくり協会

(赤字:H31.2参加団体)

官民合同技術講習会の枠組



講義名	参加人数	講師
土工技術講習会	<官> 16名 (国:3, 自治体:13) <民> 12名	(一社)宮城県建設業協会 首原 敬二 氏 (株)復建技術コンサルタント 小原 茂樹 氏 中央開発(株) 橋本 智雄 氏 東北技術事務所・土質試験室
アスファルト技術講習会	<官> 16名 (国:4, 自治体:12) <民> 10名	(株)ガイアート 佐澤 昌樹 氏 東北技術事務所・アスファルト試験室
コンクリート技術講習会	<官> 16名 (国:3, 自治体:13) <民> 12名	飛鳥建設(株) 笠井 和弘 氏 東北技術事務所・コンクリート試験室
構造物設計技術講習会	<官> 23名 (国:9, 自治体:14) <民> 24名	(株)復建技術コンサルタント 石橋 努 氏 大日本コンサルタント(株) 鏡 幸二 氏
合計	延べ受講者数 <官> 71名 (国:19, 自治体:52) <民> 58名	純受講者数 <官> 31名 (国:15, 自治体:16) <民> 47名
		受講講座数 4講座 13名 3講座 3名 2講座 6名 1講座 56名



▲土工基礎技術講習:実習 (R1.7.2)



▲アスファルト基礎技術講習会:実習 (R1.7.3)



▲コンクリート基礎技術講習:実習 (R1.7.4)



▲構造物設計基礎技術講習:演習 (R1.7.5)

土工基礎技術講習

・切り土について、東北の地層や土質等は参考になった。
・様々な事例や対策まで説明があり、良かった。

アスファルト基礎技術講習

・実際に体験することでイメージが湧きやすくなった。
・現場の立会に行き際に気をつけたいと思った。

コンクリート基礎技術講習

・説明もわかりやすく、大変勉強になりました。
・実習時間がもう少し長くてもいいような気がします。
・体験施設実習の前に実際の施工の動画があれば構造物の打設方法のイメージが付きやすかった。

構造物設計基礎技術講習

・資料に引用した参考図書等が明記されており、今後実務において活用できるのが良かった。
・講義した内容をふまえて、演習することで自分の理解が深まって良かった。

夏休み2019

宿題★自由研究

大作戦

©Lily Franky

— 2019年8月9日～10日 夢メッセみやぎ —

昨年に引き続き4回目の仙台開催となる小学生と保護者のための夏休みイベント「夏休み2019宿題★自由研究大作戦」が8月9日(金)～10日(土)、夢メッセみやぎにて開催されます。

前は荒天にもかかわらず、約3,600人の親子が参加したこのイベントに、東北技術事務所は今年も出展します！

夏休みの宿題や自由研究に役立つ学習・体験プログラムが満載のイベントですので、親子で一緒に学んで体験して、夏休みを楽しく過ごしましょう。

参加は無料ですが、事前登録が必要です。

東北技術事務所のプログラムを紹介します。
整理券が必要なプログラムもあるので、早めにチェック！

今年は3Dシアターで災害体験できる車「自然災害体験車」が来るよ！
イベントの詳細はホームページで確認してね♪

<http://www.jma-wakuwaku.com/>

夏休み宿題自由研究で検索



©Lily Franky

1 『工作教室』木の棒を組み合わせて橋を作ろう！！ 整理券制

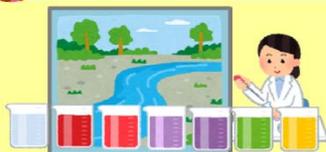


レオナルド・ダ・ヴィンチ

接着剤のいない不思議な橋をつくります

9:20～10:00	13:20～14:00
10:20～11:00	14:20～15:00
11:20～12:00	15:20～16:00

2 河川の水を調査しよう！！『水質調査実験隊』 整理券制



川からくんできた水の透明度や汚れを調べよう

9:30～10:00	13:00～13:30
10:30～11:00	14:00～14:30
11:30～12:00	15:00～15:30

屋外 外でやってるよ★ 9日

3 とびだす映像で災害を体験してみよう！！ 整理券制

9:00～9:15	13:00～13:15
9:30～9:45	13:30～13:45
10:00～10:15	14:00～14:15
10:30～10:45	14:30～14:45
11:00～11:15	15:00～15:15
11:30～11:45	15:30～15:45
12:00～12:15	
12:30～12:45	



★必ず保護者の方同伴でご参加ください。
(お子さま1名と保護者様1名で1組)

屋外 外でやってるよ★ 10日

3 『工作教室』川の水位を知らせる装置を作ろう！！ 整理券制

対策本部車の中でミニ『簡易アラート』という装置を作ろう

9:30～10:00	13:00～13:30
10:30～11:00	14:00～14:30
11:30～12:00	15:00～15:30



★必ず保護者の方同伴でご参加ください。(お子さま1名と保護者様1名で1組)

4 道路やトンネルを点検する車に乗ってみよう！！ 当日受付

9:00～16:00

★保護者の方も一緒にご参加いただけます。



自然災害体験車



トンネル点検車



道路パトロールカー



©Lily Franky

問い合わせ先：施工調査・技術活用課
電話番号 022-365-7983

第18回（令和元年度）

高校生橋梁模型作品発表会作品募集

第18回(令和元年度)高校生「橋梁模型」作品発表会の参加作品を募集中です。

本発表会は、土木技術を学び将来の社会資本づくりを担う高校生に、模型づくりを通じて、橋の種類や構造に関する知識や、ものづくりの楽しさや創意工夫を体験してもらうことを目的として毎年開催し、今年で18回目の開催となります。

募集する模型作品は、身近な橋や写真で見たことがある橋、夢のある橋など、型式や構造は自由となっております。

土木技術を学ぶ高校生からのたくさんの応募をお待ちしております。



第17回発表会(せんだいメディアテーク)

応募要項

○応募資格：東北6県の高校及び高等専門学校で建設系を学ぶ生徒
※高等専門学校の生徒の応募資格は3年生までとします
※個人・グループの別は問いません

○作品課題：橋梁の種類、型式は問いません
①国内外を問わず実在する橋の模型
②国内外を問わず過去に存在した橋の模型
③実際にはない型式、構造の橋、夢のある橋の模型
※詳細は募集要項をご確認ください

○参加申込期限：令和元年 9月30日(月) 17時必着
○作品提出期限：令和元年 1月 7日(火) 17時必着
○審査・表彰：一次、二次審査の上優秀作品を表彰します

○詳細はホームページをご覧ください

高校生橋梁模型 で検索

<http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kyoryomokei/r1/index.html>



第17回応募作品



お問い合わせ

高校生橋梁模型作品発表会実行委員会事務局
〒985-0842 宮城県多賀城市桜木三丁目6番1号
国土交通省東北技術事務所 施工調査・技術活用課内
TEL022-365-8047
E-mail thr-tougi01@mlit.go.jp

【構成委員】

- 一社) 日本橋梁建設協会、一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会
- 一社) 東北地域づくり協会、一財) 橋梁調査会
- 一社) 建設コンサルタンツ協会、国土交通省東北技術事務所

<< 橋梁点検・診断の実施について >>

◆橋梁点検・診断

我が国の道路構造物は、高度経済成長期における集中的な整備を経て順次ストックとして蓄積されてきました。今後、これらの補修や更新を行う必要性が急激に高まってくるが見込まれており、国・地方とも厳しい財政状況にある中、いかに的確に対応するかが課題となっています。

道路橋においても、既に老朽化が一斉に進んでいることから、予防保全(事故や大規模な補修に至る前に対策を実施)を行うことで、橋梁の延命化と補修・架け替え費用の縮減や、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的に、橋梁の損傷度合いを判定するため、橋梁点検・診断を実施しています。

《東北技術事務所の取り組み》

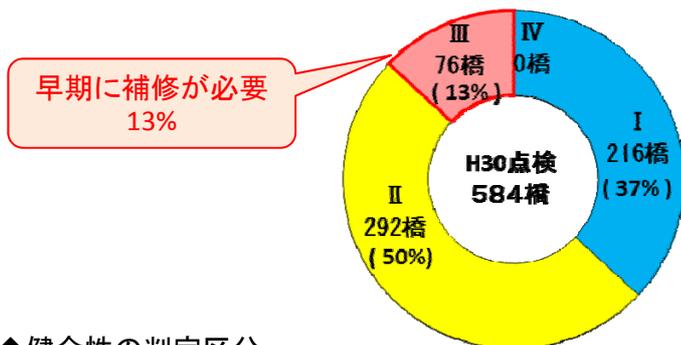
東北地方整備局が管理する道路橋(溝橋(加バート)を除く)は約3,000橋あります。当事務所では、東北地方整備局が管理する道路橋について、供用開始後2年以内の初回点検及び5年以内毎の定期点検を行っており、これまでの5年間(H26~30)で、約2,900橋の点検・診断を行い、維持管理を行う事務所へ毎年報告を行っています。

今年度も4月~1月までの期間に、約700橋の点検・診断を予定しています。

点検時は交通規制を行います。通行される皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

<平成30年度点検・診断結果>

平成30年度に定期点検を実施した584橋のうち、早期に補修が必要な橋梁は13%(Ⅲ判定:76橋)となっています。



◆健全性の判定区分

区分	定義
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点で措置を講じることが望ましい状態
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

<<橋梁点検状況>>



問い合わせ先 : 維持管理技術課
022-365-7971

樋門・樋管・水門の河川施設点検 ～業務概要報告～

東北地方整備局管内の直轄管理施設(樋門・樋管・水門)は約1,300箇所あり、建設後50年を経過した施設は約3割に達し、今後20年後には約6割に増加します。このような中、施設の状態を把握し、機能への支障を判断しながら、適宜修繕・補修を計画し維持管理を行っています。

今年度も管内の各河川に整備されている約140施設について、劣化の進行具合や新たな損傷などがないかの点検を実施します。(本点検は、人間で例えると定期健康診断にあたります。洪水や地震後の施設の稼動点検については、各出張所で随時行っています。)

●7月～10月までの工程で以下の河川で実施します。

- ①岩木川(青森県) ②馬淵川(青森県) ③高瀬川(青森県)
- ④雄物川(秋田県) ⑤米代川(秋田県) ⑥子吉川(秋田県)
- ⑦最上川(山形県) ⑧赤川(山形県) ⑨北上川(岩手県・宮城県)
- ⑩名取川(宮城県) ⑪鳴瀬川(宮城県) ⑫阿武隈川(宮城県・福島県)

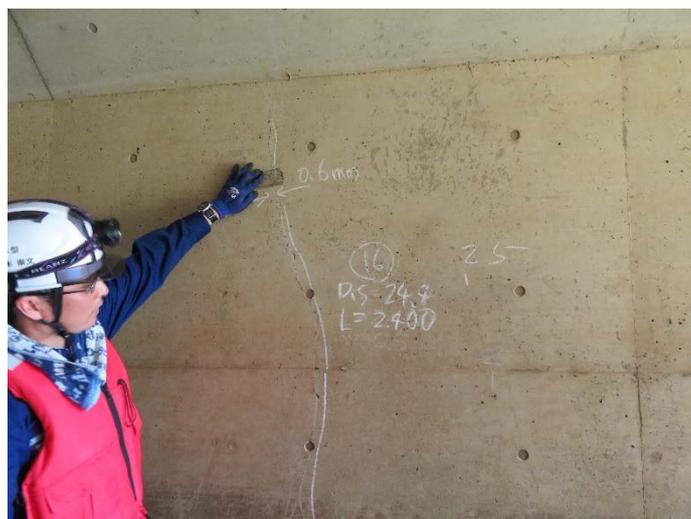


排水樋門全景

<点検状況写真>



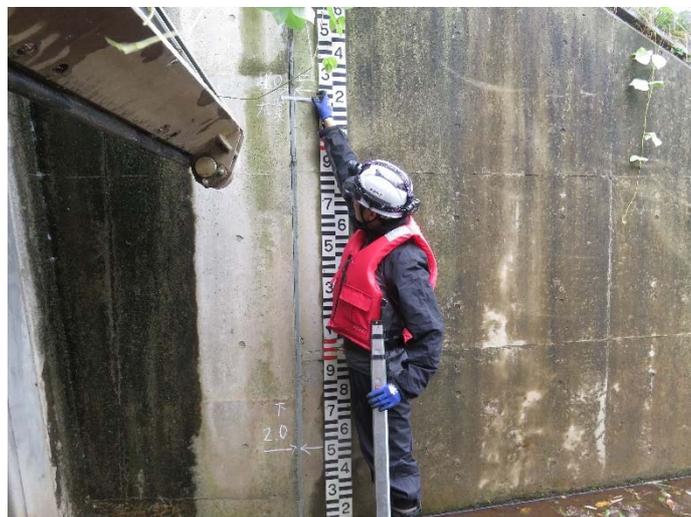
排水樋門内の沈下計測



排水樋門内のクラック計測



門柱の傾倒計測



排水樋門本体と翼壁の開き計測

問合せ先: 品質調査課
022-365-7988

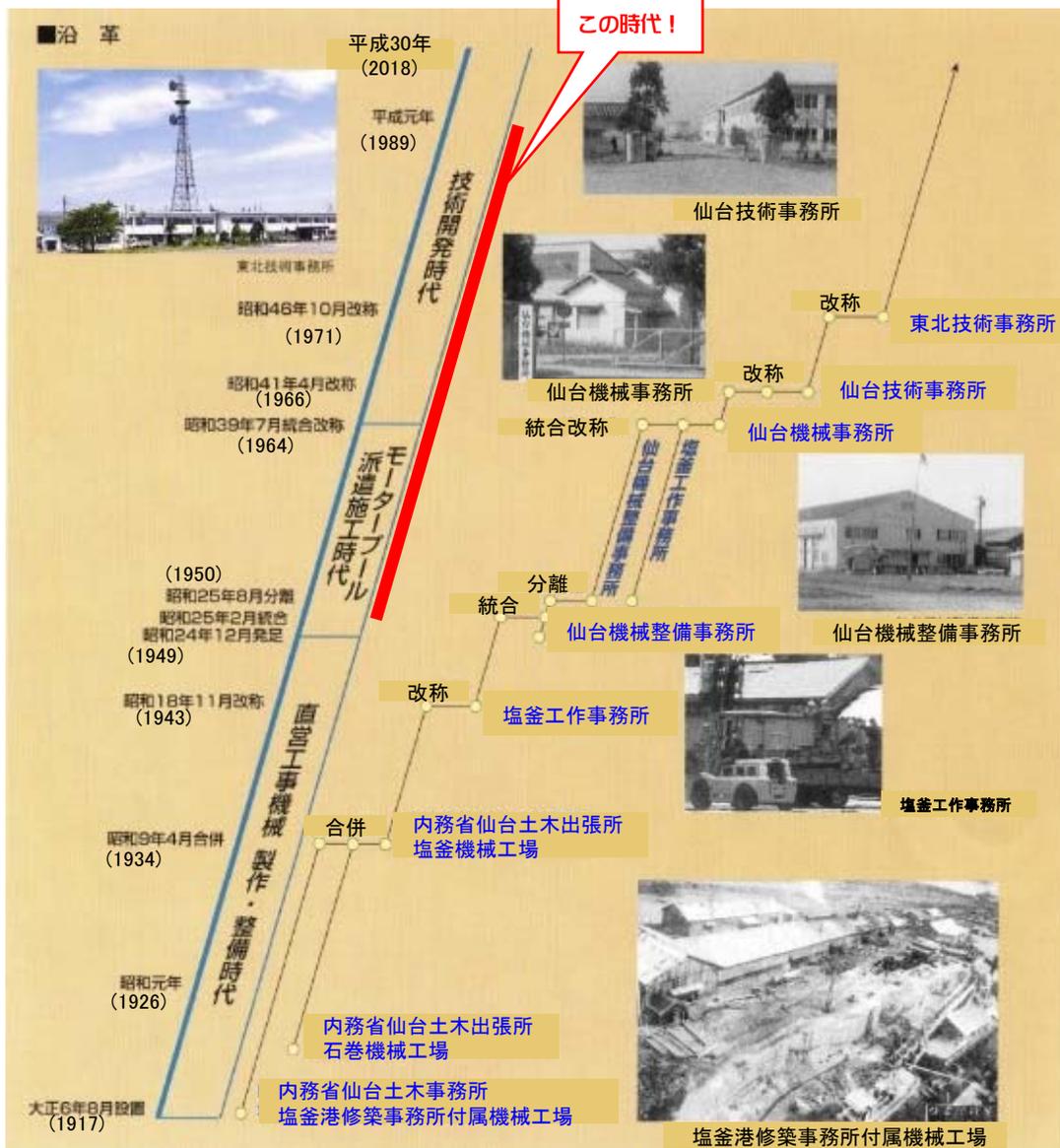
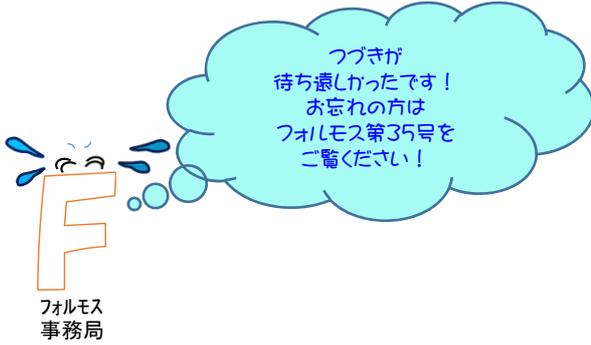
シリーズ 第4回目

東北技術事務所の歴史を辿る^{たど}

～ 四ノ技 ～

毎回、東北技術事務所の歴史を紐解いてきております「東北技術事務所の歴史を辿る」シリーズの第4回目です。前号では、昭和50年(1975年)当時の構内図を示し、アスファルト試験棟は元々第2工場(整備)だったところまで掲載しておりました。

今号では、アスファルト試験棟となる前身の「第2工場(整備)」についてご紹介します。



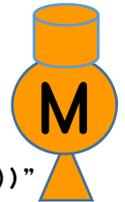
現存するアスファルト試験棟は、昭和24年（1949年）東北技術事務所の前身である仙台機械整備事務所発足当時の建物そのままの姿と思われます（①）。

それまでの建設工事は、直轄工事が直営で、人力施工が当たり前、運搬には馬トロや機関車により施工しておりましたが、昭和24年頃から米軍より払い下げを受けた、ブルドーザやスクレーパ、グレーダ等が建設省に導入され始めました。

払い下げを受けた建設機械を各工事事務所の河川やダム、道路工事現場に派遣し（②）、建設機械による機械化施工が進められてきました。

第2工場

“東技師匠
(機械部門(2代目))”



①仙台機械整備事務所（左端の建物が第二工場）



▲ブル押土、パワーショベル積込、錫トロ機関車運搬(昭和33年)

②派遣施工状況（オペレータも職員）

現場に派遣された建設機械は、稼働しているうちに不具合や故障が発生します。これらの機械を整備（③）していたのが仙台機械整備事務所であり、通称モータープールと呼ばれるゆえんでもあるようです。その中核的な工場が、第2工場だったわけです。

第2工場では、整備課（後の機械課）の職員が90名近い大所帯で、多くの建設機械を整備しておりました。派遣施工は昭和30年代前半まで続き、現場に派遣された多くの建設機械の点検整備を実施してきました。

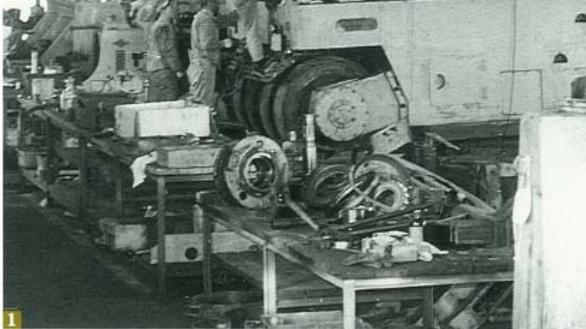


“東技師匠
(機械部門(2代目))”

へ～！！まさに工場！
だったのですね～！！スゴイです！！
正面に写っている「安全第一」の踊り
場は名残がありますね！



フォルモス
事務局



1 タイヤローラ定期点検（分解整備）



2 ブルドーザ定期点検（分解整備）
3 エンジンベンチテスト
4 ブルドーザ定期点検（分解整備）

皆さんの手で
しっかり整備され
ておりますね！



フォルモス
事務局

③第2工場での分解整備状況

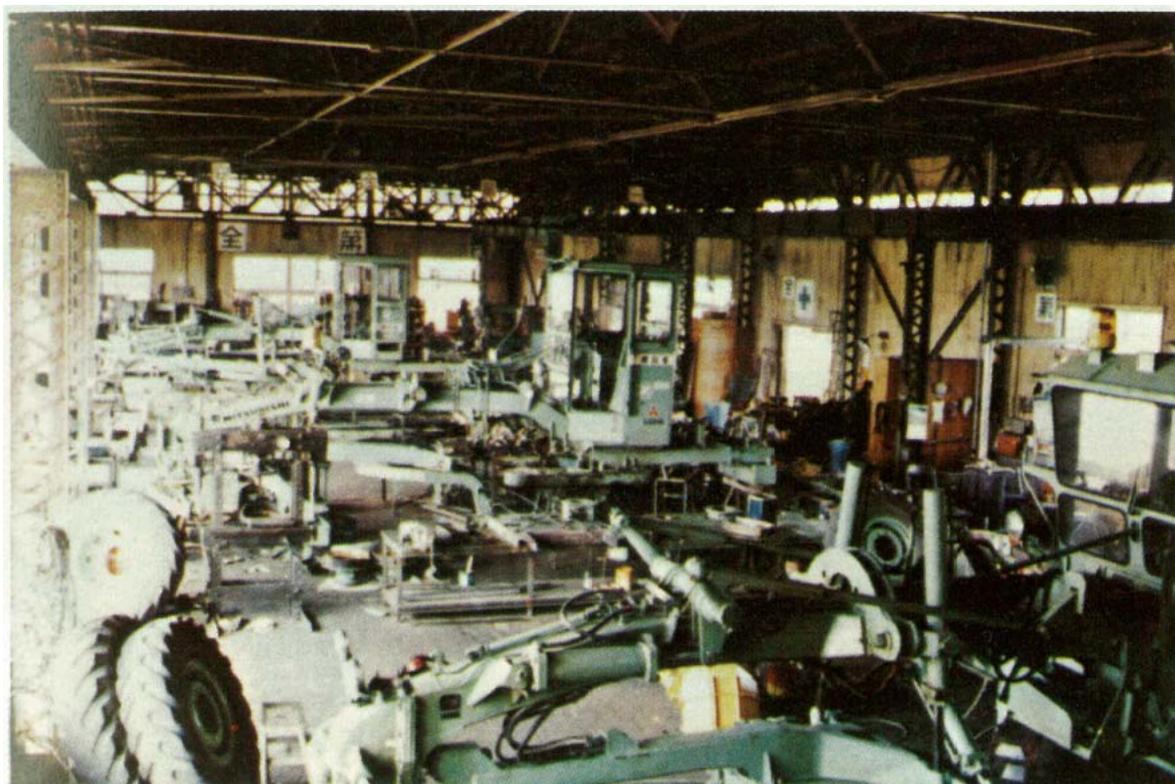
その後、施工形態が請負施工へ変わり、第二工場の役割は、除雪機械の整備や改良(④)などを担ってきましたが、点検整備や機械開発も民間に請け負う形態になり、平成元年度をもって工場が閉鎖されました。

派遣施工当時大活躍したブルドーザが、事務所正門横に展示してある「機械化施工発祥の地モニュメント」です。(WEB formosus第33号参照)



「機械化施工発祥の地モニュメント」について詳しくは、歴史を辿るシリーズ第1回目の「一ノ技」(WEBforumosus第33号)をご覧ください!

“東技師匠 (機械部門(2代目))”



④第2工場内部 (除雪グレーダ整備状況)

この頃の除雪車は黄色では無いんですね、いつ頃から黄色なのか!?なども気になります~
2代目機械師匠!ありがとうございました!

次回、第三章として東技師匠(アスファルト部門)によるアスファルト合材開発秘話! ?をご紹介します!

フォルモス事務局



おたのしみに…………

“東技師匠 (アスファルト部門)”



東 北 技 術 事 務 所 の 紹 介



東北技術事務所 で 🔍 検索

東北技術事務所が行い、担っている業務をお知らせしています。

新技術に関わる情報の共有及び提供をしております

NETIS 検索

コンクリートの施工不良箇所などの再現をした実物大の体験型構造物を見学できます(申し込みはこちら)

高校生橋梁模型作品発表会の平成23年度からの作品内容をご覧になれます

道路施設の老朽化対策はこちら

WEB formosusのバックナンバーをご覧頂けます

事務局から

山形県沖を震源とする震度6強の地震や、西日本の遅い梅雨入りと同時に発生した九州地方の大雨など、休む暇も無く様々な災害が続いています。

被災された方々には心からお見舞い申し上げます、対応にあたった方々にはそのご苦勞に感謝申し上げます。

今回の災害では、当事務所からの現地への派遣等は行われませんでした。が、予期せぬ災害にも対応できるよう、日頃からのイメージトレーニングを欠かさないことが重要だと考えています。

6月5日、6日に開催された「EE東北'19」ですが、お陰様で、出展技術数も891と過去最高を数え、来場者も2日間で16,500人と過去最高を記録しました。ご来場いただいた皆様、出展や運営等様々な形でご協力いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。

来年は、30回目という節目の年となります。すでに準備も始まっておりますが、引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今号でもご紹介していますが「夏休み2019 宿題☆自由研究大作戦」が、8月9日(金)、10日(土)に開催予定となっており、当事務所からも、河川の水を調査する「水質調査実験隊」など5つのプログラムを出展する予定です。いつのまにか「夏」がそこまで来ているのですね～。今号が発行される頃には夏本番も間近といった頃でしょうか。皆様も熱中症など体調管理に留意され、楽しい夏休みをお過ごし下さい。(Y)

発行元

国土交通省 東北技術事務所 Web formosus(フォルモス)発行事務局

〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6-1 TEL022-365-8211

フォルモス事務局 品質調査課

FAX 022-365-7899

E-mail : thr-tougi02@mlit.go.jp

事務所ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/index.html>